

梅雨の楽しみ

園長 堀田あけみ

そろそろ梅雨の季節です。雨が降っても傘をさして、登園時と降園時、門に立ってお迎えとお見送りをします。自分が保護者だった頃は、園長先生、大変だなあと少し思っていました。少しなのは、それよりも自分が大変だったからです。多いときには3人、子どもを濡れないように連れ帰らなければいけないので。でも、もれなく濡れました。一日24時間あるのに、何故午後2時ちょうどに一番雨脚強くなるかな。という日は、濡れないことを諦めて、帰宅後シャワーに直行することもありました。

先日も雨模様で、午後2時の降りが一番強かったように私は感じました。「こんな日までお疲れ様です」とお気遣いくださる保護者さんも多く、ありがたい限りです。でも、2人3人とお子さんを連れてお迎えに来られる保護者さんに較べたら、一人で傘をさしているのくらい、なんのこれしきです。それに、雨の日には雨の日の楽しみがあるんです。

子ども達が、それぞれお気に入りの傘をさして登園する姿が、一人一人個性的で見ているだけで楽しくなります。リュックにつける目印や、身に着けるものに、その子が何を好きかは反映されますが、傘は一番大きくその子らしさを見せてくれる小道具だと思います。色・形・大きさ、何より描かれているもの。その傘、小さすぎるんじゃない？ という子は、だいたいお気に入りだから替えたくないという理由です。私が保護者だった頃には、男子は戦隊ものと仮面ライダーが主流でしたが、今はほとんど見かけません。男子に圧倒的に人気なのは恐竜。私も実は恐竜大好きで、グッズもたくさん持っているので、「同士よ」という気持ちになります。女子はプリンセスやサンリオのキャラクター。20年前はどうだったのかと思い出してみたら、「とっとこハム太郎」と「ミニモニ」でした。今の大学生に言っても全然ぴんと来ていません。我が家の場合は、2人の男子が戦隊もライダーも通らず、長男は幼少時からポケモン一筋、次男はアンパンマンからマリオに行きました。女の子のブームは次々に移り変わって、ハートの模様とかレースだけという時期もありました。傘のさし方も上手な子もいれば、振り回してしまう子がいて、大真面目にさしていても濡れちゃってるね、ということもあります。

雨は降るものだし、降らなければ困ります。子どもと一緒に、楽しむくらいの気持ちで梅雨を過ごしましょう。年長さんになると、ちょっと悪いことをしたい男子が水をかけてきたりしますが、それも、仁王立ちでやり過ごします。

この頃は暑さが過ぎて、一口に楽しみだとも言えない夏です。田代学区で言えば、夏祭りが「暑すぎるから」という理由で秋に移動しました。でも、子どもと一緒にいつもとは違う時間を過ごせる季節であることには変わりません。雨が終われば夏の楽しみがあると期待して、天気予報の傘マークに負けずに過ごしましょう。